

農産物が原料 名所にちなみ



9種販売好調

中高生作った地図添え

企画したのは、製菓原 料の卸と小売業を営む同 市の株式会社中島基 晴専務(39)。地元のこと 知らない子どもたちが 多いことを憂い、子ども

もも喜ぶあめ作りに取り 組んだ。地元の農業を愛 し、特産品を守る農家を 応援する気持ちも人一倍 強く、市の農業の活性化 も目指した。

福山名物あめで表現

福山市の特産品や名所にちなみんだあめのセット「備後ふるさと便りオリーブの宝 石箱」が今月から発売され、好調な売れ行きを見せていく。

あめは9種類で、農産 物を使ったあめは、イチ ゴ、スマモ、ブドウ、ア ンズ、ジネンジョの5種 類。そのほかは、塩田で 栄えた松永地域をイメ じした「しお飴(あめ)」 や、江戸時代から続く鞆 町名産の「保命酒(ほう めいしゅ)」のあめなど、 各地域の歴史や名所を表 現した。

中島専務は、農産物の 生産組合をJA福山市か ら教わり、農家に足繁く 出向いて果実などを入手 した。自家業の合間に、実 を煮込んで果汁をしぼり 取り、市内の手作りあめ 菓子の老舗である株式会 社製菓に製造を依頼した。

あめは、合成着色料を 使っていないため、果実の 自然な色と風味に仕上がっ ている。

セットには、特産品と名所 のイラストが入った市の マップが添えられる。イ ラストは広島大学附属福 山中・高校の生徒たちが 描いたもので、生徒たち は作成を通じて地元への 関心を強くした。共同開 発を記念し、同校の校章 であるオリーブを商品名 に取り入れた。

中島専務は、「今後も地 元にこだわり、いろいろ な菓子で特産品を表現し ながら農家を応援したい」と目を輝かせる。

あめは1袋140円入 りで、9種類の箱詰めが 2500円。ばら売りも ある。鞆町のどもてつバ センターと、御船町の 中島商店で販売してい

地元の特産品と名所にちなみんだ9種類のあめと特産・観光
マップを手にする中島専務

あめは、合成着色料を

製菓に製造を依頼した。
店(電)084(922)4870。(福山市)